

2023年9月10日

主日礼拝

①10:30 ②13:00

司会：①大森 康弘 ②ナバーロ ホアン

プレイズ

黙禱/祈禱

(司会者)

十戒

(起立)

①キッズメッセージ 詩篇 115:20

ナバーロ ホアン

聖書

使徒行伝 20章 17-24節

メッセージ

神の指(Fingerprints of God)シリーズ 90 柴田 順一 牧師

「エンディングノート」"Stairway to Heaven"

祈禱

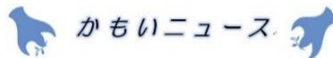
頌栄

God Bless You (新聖歌 198)

(起立)

祝禱

(牧師)



◇ WELCOME HOME! 本日の YC カフェ はお休みです。

冷たいお茶があります。ソファやカウンター席でどなたもお寛ぎください。

◇ 各礼拝後、明興社をお迎えして教会版「葬儀の備え」の説明をいたします。

◇ 第2礼拝後「フットサル」14:50 イオン屋上集合。[今後の予定 10/22,11/12]

◇ 第2礼拝後「婦人交わり会」。女性たちのためのお茶会です。

◇ 聖書ガイド「リビングライフ 10月号」(¥700)が販売中です。どなたも!

◇ タウンニュース「心のエステ」9月号が届いています。どなたもどうぞ!

◇ 今週土曜「礼拝堂お掃除」は午前11時から。お間違いのないよう。

◇ 礼拝献金、什一献金等は、受付前の木製献金箱をご利用ください。

□ 本日の集会 10:30「キッズチャーチ」4F 集合

12:00「聖書入門クラス」5F

□ 今週の集会 木曜 10:30「オープン祈禱会」4F 「牧師面談」5F

土曜 14:00「横浜地区3支教会合同

ファミリー&ユース賛美集会」@横浜 CC

しかし、私は自分の行程を走り終え、主イエスから賜った神の恵みの福音をあかす任務を果し得さえしたら、この命は自分にとって、少しも惜しいとは思わない。使徒行伝20:24



「信仰維新」

外は花崗岩、内は大理石の国会議事堂?と思えるほどの神宮外苑「聖徳記念絵画館」を先週訪ねた。幕末大政奉還から明治維新を経て、新しい日本の誕生とその激動の歴史を、明治天皇を中心に80枚の大変貴重な絵画で見せてくれる歴史美術館である。朝一番のせいか、2時間の鑑賞で、他に2人の観覧者しかおらず、厳かな静寂さの中で、この国の誕生の苦闘をこの身に感じる事ができた。

最も驚いたのは、革命とも呼べる新しい日本の誕生に伴う激動の時代を牽引したのは、若者達であった事。1869年の明治維新時の彼らの年齢は、勝海舟45歳、西郷隆盛40歳、大久保利通38歳(暗殺49歳)、木戸孝允(36歳)伊藤博文27歳、坂本竜馬(生きていたら)32歳。更に、最後の将軍徳川慶喜32歳、明治天皇に至っては16歳であった。この日本という新しい国の誕生は、50代さえもないこのような若者達の命によって生まれたのだ!

館内で茫然とひとり立ち尽くした時、そう言えば、イエスキリストの公生涯も30~33歳であったのだと思った。今までにはない全く新しい国、ビジョンと夢、パッションとエネルギー。天はその時代のそんな若者達に明日を託すのであろうか。今日はキッズ合同礼拝であるが、教会だけではない、神の国は、若者や子供達、彼らのものであり彼らが新しい時代を創って行くのである。

先週のメッセージ、礼拝中眠くなって窓から落ちて死んだ青年ユテコ。主を求めて教会に来る若者達を寝かせ、窓から落として死なせたのは、もしや私達・教会であったのではなかろうか。この81枚目の絵画に、私は現代の若者達の魂の叫びと、現代の教会の姿を見たような気がする。

しかし、このストーリーは死では終わらない。落ちて死んだ若者ユテコを起こし生き返らせたのも、またパウロ(私達教会)であった。若いも若きも、もう一度共に「信仰維新」という新たなる時代を迎え進もうではないか。

今週の聖書通読【ヘブル人への手紙】リビングライフ9月号

10	日	6:13-20	安全で確かな希望
11	月	7:1-10	アブラハムよりすぐれたメルキゼデク
12	火	7:11-22	不完全な祭司職
13	水	7:23-28	ただ一度で成し遂げられた完全な救い
14	木	8:1-13	よりすぐれた契約の仲介者
15	金	9:1-10	新しい秩序が立てられる時まで
16	土	9:11-22	傷のないイエスの血
17	日	9:23-28	さらにすぐれたいけにえ